

## I 運営理念

### 安 全 ・ 安 心 ・ ゆとり

- 利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
- 家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。
- 一 在宅、施設にかかわらず、介護を必要とする方々のかけがえのない命を尊重し、心が落ちついて生活できる介護サービスを提供します。
- 一 利用者、家族、職員がお互いに信頼関係を築き、気がかりなく、安心感に包まれた、心が落ちつく生活環境をつくります。
- 一 心にゆとりをもち、一人ひとりがその人らしく、おだやかな生活を送ることができる環境を整えます。

日本の高齢化は今後も長期にわたり進行し、65歳以上人口は令和7年6月時点で約3,620万人、2040年には約4,000万人規模に達すると見込まれています。一方で、生産年齢人口は急速に減少し、介護人材の確保は全国的に極めて厳しい状況に置かれています。

このような状況を背景に、国は「全世代型社会保障」の理念のもと、医療・介護・福祉の提供体制の再構築を進め、第10期介護保険事業計画（令和9～11年度）の策定に向けた議論においては、85歳以上人口の増加を見据えたサービス提供体制の確保に加え、限られた人材・財源の中で介護サービスを持続可能なものとするため、地域包括ケアシステムの「深化」、地域共生社会の実現、介護予防・健康づくりの強化、医療・介護連携の推進、そして生産性向上のさらなる推進が重要な柱として示されています。

特に、介護サービス事業所に対しては、ICTや介護ロボットの活用による業務効率化、LIFE（科学的介護情報システム）を活用した質の向上、職員の働きやすい職場環境の整備などが前提条件となりつつあり、「量から質へ」の転換が強く求められています。

令和6年度介護報酬改定では、全体としてはプラス改定となったものの、人件費や物価、エネルギー価格の高騰を十分に吸収できる水準には至っておらず、介護事業者の経営環境は依然として厳しい状況が続いています。これを受け、令和7年度補正予算における「介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業」に

については、令和7年12月分から令和8年5月分までの賃上げ相当分が支援され、令和8年度介護報酬臨時改定では、これを継続する形で介護職員等処遇改善加算の拡充が見込まれています。いずれも、取り組み要件が前提となっており、今後、報酬制度は安定的な給付よりも、加算取得や生産性向上の取り組みを評価する方向へと進むことが見込まれ、経営管理能力そのものが問われる時代となっています。

このような厳しい環境の中にあっても、社会福祉法人である当法人には、地域におけるセーフティネットとしての役割を果たし続ける責務があります。当法人は、これまで経営改善計画に基づいた事業計画により持続可能な経営への取り組み、将来を見据えた財務運営、本部機能の強化・充実、サービス向上による稼働率の確保に努め、介護人材の確保に向けた処遇の改善、ICT化やロボットの導入による業務の効率化など、職員の働きやすい環境づくりによる負担軽減を図ってきたところです。

令和8年度は、これらの取り組みをさらに発展させながら、法人の設立目的と運営理念を改めて確認し、「安全・安心・ゆとり」を基盤とした質の高い介護の提供と、職員が誇りをもって働くことのできる組織づくりを進め、地域に信頼され、地域にとって不可欠な存在であり続けることを目指します。

## II 経営改善の重点

令和8年度は第2次経営改善計画の最終年度となることから、取り組みの成果や現状から見えた課題の再検証を行い、時代の変化に対応した持続可能な経営をめざし、人材の確保と育成、安定した財務管理、施設設備の長寿命化などの取り組みを一層推進していきます。

### 〔重点事項〕

#### ◇第2次経営改善計画の評価

計画の実施状況や成果を評価し共有化を図るとともに、課題の改善に取り組みます。

#### ◇人材の確保と育成

法人の中核を担う人材確保のための管理職及び中核的リーダーの育成に努めるとともに、中途採用者の活用、外国人労働者の採用準備など多様な人材の確保に努めます

#### ◇安定した経営の推進

地域が求める介護サービスの提供と各種加算取得に努めます  
法人コンプライアンスの内部監査を強化します

#### ◇業務改善による職場環境の整備と施設設備の長寿命化を推進

業務の効率化、生産性向上に努めるとともに、長期修繕計画に基づく施設設備の長寿命化を図ります

### Ⅲ 事業計画

#### 1 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上

##### (1) 地域から選ばれる施設づくり

利用者とその家族に安心して利用していただける施設づくりと、利用者の尊厳を守り、その人らしく生活できる介護サービス提供を行い、利用者の拡大を図ります

- ・利用者等のニーズを理解し、利便性やサービス向上にかかる柔軟な取り組み
- ・利用者の尊厳を守り、利用者に対する親切な態度、丁寧な言葉遣いの徹底
- ・居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター等に積極的に情報を求め、様々な要望に応じることのできる対応力の向上
- ・コンプライアンスチェック体制の強化

##### (2) 質の高いサービスの提供

専門職によるチームケアにより、利用者の持っている力を最大限発揮できるよう全面的に支援します

- ・介護、生活相談等、職種別の担当者会議の充実と機能強化
- ・認知症への的確な対応と科学的介護の取組ができる職員のスキルアップ
- ・法人内で統一した介護、利用者対応の実践
- ・リスクマネジメント委員会の機能強化による事故の軽減
- ・外部評価、自己評価の実施によるサービスの質の向上

#### 2 人材の確保と職員の成長を促す人材育成

##### (1) 人材確保と人事管理

職員の確保に長期的視野で取り組み、積極的に求人活動を行うとともに、高年齢職員の活用方法の検討、外国人労働者の導入準備をすすめ、人材豊かな職場づくりを推進します

- ・職員待遇及び福利厚生の充実
- ・職員の定数管理に基づく配置計画及び採用活動
- ・高年齢職員の活用及び外国人労働者の導入準備

##### (2) 職員の成長を促す人材育成

職員の成長は、法人・施設の持続的発展に不可欠であり、職員研修、業務改善プロジェクト等の実施により、職員が自らの力量を高める組織づくりを進めます

あわせて、職員の働きやすい職場環境の維持に努めます

- ・若手職員による業務改善提案プロジェクトの継続実施
- ・中途採用職員の経験の活用と定着
- ・ハラスメント対策及びメンタルヘルス対策の強化

### 3 持続可能で未来志向の経営管理

#### (1) 持続可能な事業運営

経営成績の評価と財政状態を分析し、持続可能な経営に努めるとともに、健全で信頼される事業運営を目指します

- ・月次分析による経営状況の把握と的確な経営予測の実施
- ・長期的視点に立った財政計画（経営シミュレーション）の作成
- ・長期修繕計画に基づく施設設備等の長寿命化

#### (2) 地域社会におけるつながりづくり

法人及び施設の存在を地域の方々に知っていただくため積極的に情報を発信し、また災害等発生時には地域と連携・協力し、地域の一員として地域づくりに取り組みます

- ・ホームページ、SNSによる情報発信の強化
- ・行政、地域諸団体との情報共有及び連携
- ・人口減少、世帯構成の変化等を踏まえた介護福祉ニーズへの対応準備

#### 【法人本部の重点項目】

##### (1) 進捗管理

- ・経営改善計画の成果の確定と検証及び次期計画の策定
- ・事業計画の進捗管理
- ・長期修繕計画及び施設設備更新計画の進捗管理

##### (2) 経営基盤の強化

- ・月次分析による予算管理の徹底
- ・経費の削減と各種補助金、助成金の活用
- ・社会福祉連携推進法人加入による大規模修繕補助金の活用
- ・コンプライアンス委員会の定期開催とチェック体制の強化

##### (3) 人材の確保と育成

- ・積極的な求人活動による人材確保
- ・研修計画の作成と実施
- ・面談や相談窓口活用によるハラスメント対策、メンタルヘルス対策の実施

##### (4) 業務改善の実施

- ・ICTの活用促進と業務改善の実施及び成果の検証
- ・業務改善プロジェクトの実施と改善内容の法人全体への横展開

## 令和8年度あつかし荘事業計画

### 1 全体

桑折町の令和8年1月の高齢化率は38.4%(前年比+0.4%)、隣接する国見町は45.2%(前年比+1.7%)と近隣地域の高齢化は加速しています。

さらに、社会構造の変化により、高齢者の単身世帯や高齢者のみ世帯の割合が増加する中、桑折町の調査結果では介護認定を受けている高齢者の約6割が認知症を抱えていることから、介護施設に求められる役割は多様化し、きめ細かな対応と高い専門性が求められています。あつかし荘は、年々増加する認知症高齢者のケアに対応するため、職員の認知症に対する理解を深め利用者の尊厳に根ざした介護を進めます。

また、ナースコールの見守り支援システムやインカム機能等、ICT機器の有効活用により迅速な情報共有を図り、質の高い介護と事故等の減少に努めるとともに、職員の身体的、精神的負担を軽減していきます。

今年度は、外部機関による第三者評価の受審を予定しており、適切なサービス提供の透明性を確保し、更なるサービスの質の向上に努めていきます。

#### 【目標数値】

平均稼働率	目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
	特別養護老人ホーム	98.1%	99.3%	99.5%
	ショートステイ	69.4%	83.9%	85.0%

### 2 特別養護老人ホーム

#### (1) 介護

誤嚥性肺炎の予防や栄養状態の改善などに繋がる「口腔ケア」に重点を置き、歯科医の助言によるケア方法の実践や勉強会、研修派遣を行い口腔ケアの重要性を理解し口腔機能の維持向上に努めます。

インカム機能、見守り支援システム、記録ソフト等、ICT機器の活用を徹底することで、職員同士の迅速な情報共有、業務の見直しを行い、ゆとりある介護をすすめる利用者が安全、安心に過ごすことができるように努めていきます。

認知症に対応するための取り組みを継続し、認知症介護研修や、認知症チーム推進ケアを充実させ、職員一人ひとりの認知症高齢者への対応力を高めていきます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
口腔ケア研修派遣・勉強会の実施	1回/年	研修派遣2回/年 勉強会 1回/年	研修派遣2回/年 勉強会 2回/年
ICTの活用等による事故の減少	特養（52件） 短期（12件）	特養（49件） 短期（19件）	特養（39件） 短期（15件）
認知症介護の知識習得	マニュアル学習 12回/年 県認知症介護研修受講（2名）	マニュアル学習 2回/年 県認知症介護研修受講（1名） 認知症推進ワークシート作成（毎月）	施設内認知症研修 3回/年 県認知症介護研修受講（2名） 認知症推進ワークシートの評価と更新（毎月）

(2) 看護

利用者の小さな体調の変化を見逃さずに対応し、日々の健康管理を充実させるとともに、感染症対策として標準予防策などの基本的な施設内研修、協力医療機関主催の研修並びに実地指導により感染症の発生を防ぎます。

また、感染症発生時の感染拡大防止のため、感染症BCPを基に初動対応からクラスター発生時の訓練を継続して実施していきます。

看取り介護では、研修を実施するとともに人生ノートの更新を行い、多職種でのカンファレンスの際に活用し、本人の意向に沿ったケアを行い、医師・家族との連携を密にし、本人が最期まで安心して過ごすことができるよう支援します。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
感染症予防対策の強化	BCP訓練 2回/年	BCP訓練 3回/年 感染症研修 3回/年	BCP訓練 3回/年 感染症研修 3回/年
看取り介護における利用者・家族の意向の把握及び研修	人生ノートの活用	人生ノートの活用と更新 1回/年	人生ノートの活用と更新 2回/年 看取り介護研修 2回/年

(3) 生活相談

利用者・家族の要望に寄り添い、親切丁寧に対応するとともに相談しやすい雰囲気作りに努め、利用者や家族の状況等を踏まえた柔軟な対応を行い安心して過ごせるよう配慮していきます。

優先入所対象者へ月1回以上実態調査をおこない、家族やケアマネ等関係機関へ入所にむけた聞き取りを進め、空床が出た際は速やかに入所の手続きを進めます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
入所までの空床期間 (平均)	10日	11.1日	8日以内
相談援助・苦情対応 スキルの向上	事例検討・内部 研修 3回/年	事例検討・内部 研修 4回/年	事例検討・内部研 修 12回/年

(4) 機能訓練

利用者の心身機能を維持し、自立した生活ができるよう、歩行訓練、関節可動域訓練などの個別リハビリや、集団体操などの集団リハビリを多職種協働により定期的実施します。また、生活リハビリは介護士と意見交換を行い、日常的にリハビリを実施します。

言語聴覚士の助言を基に嚥下状態についてグループ内で情報を共有し、より効果的なリハビリを実践します。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
嚥下機能体操の実施	—	個別 1回/月	個別 1回/月 集団 1回/月
多職種間の情報共有 (生活リハビリ・ポジショ ニング等)	1回/週	1回/週	2回/週

(5) 栄養管理

栄養ケアマネジメント会議や多職種による定期的な会議により、安全な食事形態での提供を行うとともに、歯科医師の指導のもと口腔ケアを実施します。

口腔機能の維持・向上に努めることにより、誤嚥防止を図り、また栄養状態が改善し体調維持ができるよう食を通して支援していきます。

食事の楽しみとして選択食の実施や家族との会食など大切な時間を作ります。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
経口維持加算算定	30%	35%	40%以上
療養食加算算定	8%	11%	15%
行事食の提供	松花堂弁当での提 供 1回/月	松花堂弁当での提 供 1回/月 メニューアナウンス 1回/月	敬老会のライブキ ッチン 1回/年 選択食 1回/月 松花堂弁当での提 供 1回/月 メニューアナウンス 2回/月

(6) 総務管理係

長期修繕計画や経営シミュレーションに基づく建物・設備の整備計画を見直し、整備に係る適切な仕様を検討します。施設カルテの更新整備を継続し、施設設備の維持管理を行い、利用者の安全と快適な居住環境の維持、向上に努めます。

また、月次分析による経営状況の把握と予算管理を行い、持続可能な事業運営を目指します。

事業継続計画（BCP）に基づき、災害時の初動対応から1週間の動きを再確認し、必要に応じてマニュアルの見直しを行います。また避難・炊き出し訓練の実施、消防総合訓練や夜間消防訓練を通して地域関係団体と連携し有事に備えます。

連続休暇の全員取得を継続するとともに、ナースコール端末や見守り支援システムの活用により職員の業務負担軽減を図るとともに、安全・安心な労働環境の整備を行い働きやすい職場づくりに取り組みます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
設備機器等更新	特殊浴槽入替	食器洗浄機 汚物除去機 ナースコール端末 センサーマット	パソコン入替 駐車場照明設置
BCPに基づく訓練の実施	訓練 2回/年 研修 1回/年	訓練 2回/年 研修 2回/年	訓練 2回/年 研修 2回/年
職員の心身のストレス軽減	連続休暇の取得率 100% 高ストレス者の割合 24.4%	連続休暇の取得率 100% 高ストレス者の割合 13.0%	連続休暇の取得率 100% 高ストレス者の割合 10%以下

3 ショートステイ

家族、ケアマネジャー、サービス事業所との連携を密にし、緊急時の受入れや医療的依存度の高い利用者や、認知症状のある方の受入れを柔軟におこない、在宅生活が継続できるよう支援します。

ケアマネジャーに利用中の様子を報告し細やかに情報共有することで、信頼関係を維持し安定した利用につなげていきます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
利用実人数	月平均 24.2人	月平均 26.8人	月平均 27人
ケアマネへの空床情報・サービス内容についての情報提供	月2.5回	月3回	月3回
満足度調査の実施	家族対象 年1回 満足度 85% 回収率 63% 居宅介護支援事業所対象 年1回	家族対象 年1回 満足度 85% 回収率 65% 居宅介護支援事業所対象 1回/年 聞き取り 19名	家族対象 年1回 満足度 90% 回収率 70% 居宅介護支援事業所対象 1回/年 聞き取り 随時

## 令和8年度梁川ホーム等事業計画

### 1 全体

伊達市は1月の高齢化率が推計値で38.5%となり、少子高齢化が進んでいます。伊達市地域包括ケア推進計画においては「高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる」よう地域包括ケアシステムの深化・推進を図るとされており、梁川ホームも担い手として在宅・施設を問わず幅広いニーズに応えていかなければなりません。各事業所の強みを活かしながら多職種、多機関との連携を推進し、質の高いサービスを提供してまいります。

令和8年度は、次の3つの事業を柱として取り組んでまいります。

- 利用者本位の介護…利用者・家族の多様なニーズに真摯に向き合い、「安全・安心・ゆとり」の理念のもと利用者を尊重し家族から信頼されるサービスに努めます。
- 職員を大切にした職場づくり…資格取得や研修・自己研鑽等スキルアップを支援し幅広い介護ニーズに対応できる職員の育成に努めます。また、ICT機器、介護ロボット等を活用し、よりよいワークライフバランスが取れた働き方ができる職場づくりを推進します。
- 持続可能な経営…情報の発信と収集により利用を促進するとともに、コンプライアンスの徹底、将来を見越した各種設備、車両、ICTツール等の導入・更新を進め、安定した施設基盤の整備と効率的で働きやすい環境づくりを行います。

#### 【目標数値】

目標計画		令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
平均稼働率	特別養護老人ホーム	98.4%	96.4%	98.4%
	ショートステイ	80.3%	82.9%	83.0%
	デイサービスⅠ型	79.3%	78.0%	80.0%
	デイサービスⅡ型	63.0%	50.0%	52.5%
	ケアハウス	88.7%	87.4%	96.7%

### 2 特別養護老人ホーム

#### (1) 介護

利用者の思いが尊重され、人としての尊厳が守られた生活が送れるようにICT機器（骨伝導スマートインカム）・介護ロボット等を正しく活用するとともに、接遇・認知症介護のスキル向上、事故予防に努め質の高いケアを提供します。

毎月の行事やグループごとのレクリエーションを実施し、楽しみのある生活を送っていただけるよう支援します。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
事故件数	27件	30件	25件
計画的な全体行事の実施	年5回	年7回	毎月
グループ単位でのレク活動	-	-	グループごとに 毎週実施
内部研修会（権利擁護・ 認知症介護）	介護技術3回	介護技術1回 認知症介護2回	権利擁護2回 認知症介護2回

(2) 看護

基本的な感染対策及び感染症BCPの研修訓練を継続し、万が一の発生時に落ち着いて初動対応ができるよう備えます。特にスムーズな対策実施のために情報共有方法を統一徹底します。

利用者の体調管理を各部署連携のもと細やかにを行い、誤嚥性肺炎・褥瘡の予防、状態変化の早期発見早期対応に努めるほか、必要時は医療機関と情報を速やかに共有し連携を図ります。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
基本的な感染症対策 BCPの研修訓練継続	4回	4回	4回
誤嚥性肺炎の件数	2件	2件	0件
褥瘡の件数	1件	0件	0件

(3) 生活相談

紙媒体で行ってきた家族への通知や請求書・領収書をデジタル配信へ移行し、事務の効率化を図ります。それにより利用者支援の充実、家族への細やかな情報発信と密な連絡を行い、入所者・家族が安心して利用できるように努めます。また、地域ボランティア等による、地域社会とつながる活動を通して楽しみや潤いのある生活を送ることができるよう支援します。

入所申込者の実態調査を早期に行い待機者を常時確保し、家族やケアマネ等に状況をこまめに確認し、空床が出た際に速やかに入所を進めます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
入所までの空床期間	平均13.9日	平均29.8日	平均10日以内
ボランティア活動の推進	ボランティア4回	ボランティア12回	ボランティア13回

(4) 機能訓練

利用者一人ひとりに合わせた個別機能訓練計画書を作成し、計画に基づいて機能訓練を実施し、身体状態の維持・改善を図ります。また、3ヶ月に1回生活機能チェックシートの作成を行い、身体機能の把握に努めます。

多職種と連携し、利用者の身体状態や生活状況の変化を的確に把握する事で、褥瘡および骨折事故の予防に努めます。

誤嚥性肺炎の予防を目的として、食事姿勢の見直しを必要時に実施するとともに、食前に動画などを活用した口腔体操を含め集団での取り組みの機会を設け、嚥下機能および姿勢保持機能の維持を図ります。

福祉用具の一元管理を行い、適切に使用できるよう使用状況の把握や修理対応を行います。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
集団リハビリ実施回数	0回/月	0回/月	2回/週
誤嚥性肺炎の件数	2件	2件	0件
褥瘡の件数	1件	0件	0件
骨折事故の件数	1件	1件	0件

(5) 栄養管理

低栄養の予防・改善のために多職種と連携しミールラウンド(食事場面の観察)や栄養ケアマネジメントをとおして、一人ひとりに合った食事の形態や食事中の姿勢、口腔ケアを検討し支援します。

四季の移り変わりを感じ、食事を楽しみにしていただけるような行事食、栄養に関するポスターを毎月掲示し情報の提供に努めます。

感染症や災害の発生に備えた備蓄食料品の整備、事故・ヒヤリはっと報告の活用(発注管理の徹底・調理手順の徹底)、衛生管理を徹底するための研修の充実により安心安全な食事を提供します。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
誤嚥性肺炎の件数	2件	2件	0件
厨房業務の事故発生	2件	2件	0件

(6) 総務管理

持続可能な施設運営を図るため、経費節減を継続するとともに月次による経営状況の把握・分析を行い、収支バランスの改善を図ります。また、保守管理と計画的な設備更新により、施設の安全性・快適性の維持と長寿命化を図ります。

さらに、ICT機器・介護ロボット活用の定着と継続的な業務改善を進め、業務効率化と生産性向上を図ります。併せて、BCPに基づく訓練の実効性を高め、災害等の発生時にも安定したサービス提供ができる体制の強化と改善を行います。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
時間外勤務の削減	360時間/月	560時間/月 (前年度比 55.5%増)	330時間/月 (前年度比 41.0%減)
施設設備の整備	ナースコール更新、特殊浴槽更新、誘導灯器具交換等	ケアプランデータ連携システム・議事録作成システム導入、ケアハウスエアコン設置工事等	Web利用請求システム導入、送迎車輛更新等
災害BCP研修・訓練の実施	研修 2回/年 訓練 3回/年	研修 3回/年 訓練 3回/年 見直しの実施	研修 3回/年 訓練 3回/年 見直しの実施

### 3 ショートステイ

昨年11月に開始した利便性の高いサービスである「手ぶらショート」について、より多くの人に内容を広め、入所準備から帰宅後の片付けまで、ご家族のトータルな負担軽減を図ります。

在宅介護を支えるパートナーとして柔軟な相談体制を強化することで、利用者・家族との関係性を「点（単発）」から「線（継続）」へと深化させ、定期利用の定着に努めます。また、紙媒体で行ってきた実績報告や請求書・領収書のデジタル配信への移行を推進し、より質の高いケアと安定した運営の両立につなげます。

#### 【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
利用実人数（毎月）	53名	52名	52名
新規利用人数	月2.4名	月4名	月4名
空き情報の発信	月2回	月2回	月2回

### 4 デイサービスセンター

デイ便り・空き情報の毎月発行、ホームページの定期更新を継続し、提供しているサービスの内容や事業所の情報をご家族、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等に分かりやすく伝えることで、利用のしやすさをアピールし新規利用者獲得と継続利用の促進を図り、選ばれる事業所を目指します。

紙媒体での実績報告や請求書・領収書をデジタル配信に移行し業務効率化を図り、より質の高いケアと安定した運営に努めます。

医学的知識や介護技術等の内部研修を計画的に実施し、正しい知識に基づいた対応に努め、拘縮や下肢筋力低下予防の体操、認知機能維持のためのアクティビティを行うことで利用者が安心・安全に利用でき、在宅生活が継続できるよう支援します。

#### 【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
新規利用人数	年34名	年30名	年35名
外部研修参加、内部研修開催	年5回	年5回	年6回

### 5 ケアハウス広瀬

外出する機会、地域とつながる活動を通して入居者同士の親睦を深め、メリハリのある生活を送ることができるよう支援します。

入居者が心身ともに健康に生活できるよう健康状態の把握に努めます。また、家族と情報を共有し、必要時にスムーズな受診ができるよう支援します。

入居者の尊厳や生活の質を守るため、内部研修と自己点検等を行い、職員の資質向上に努めます。

#### 【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
外出・地域とつながる機会、活動	年3回	年5回	年5回
内部研修（接遇・口腔ケア）	—	—	年3回

## 6 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

事業所の業務マニュアルに基づいたケアマネジメント業務を確実に遂行し、利用者、家族からの相談や事業所からの連絡に迅速かつ適切に対応し、信頼関係が継続できるよう努めます。

サービス事業所や医療機関等との密接な連携を図り、利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援します。

ケアプランに関わる書類をデータで連携する国の共通システムによる情報伝達、情報共有で業務の効率化を進め、質の高いケアマネジメントが提供できるよう努めます。

### 【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
請求件数	月151件	月150件	月150件
サービス内容の確認・振り返り	月4回	月4回	月4回
地域活動への参加	月1回	月1回	月1回

## 7 伊達市梁川地域包括支援センター

高齢者の様々な困りごとに対し、適切なサービスが包括的・効率的に提供されるよう支援します。また、認知症カフェを開催し参加者が気軽に会話し相談できる場の提供、出前講座や認知症サポーター養成講座等を通じて、地域住民の認知症に対する理解促進と偏見をなくすことで、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援するとともに、関係機関との連携強化を進めていきます。

今年度は新たに認知症家族の会を立ち上げ、在宅で認知症の家族を介護する方々が悩みや体験を共有する場を提供することにより、孤独感を軽減するとともに、介護の実態に基づいたアドバイスや支援を行います。

ケアプランに関わる書類をデータで連携する国の共通システムによる情報伝達、情報共有で業務の効率化を図り、質の高いケアマネジメントの提供に努めます。

8050問題や高齢者を取り巻くあらゆる総合相談に対し、地域の実情を把握するとともに、課題に対しては梁川地区の地域支援連絡会や伊達市等関係機関と地域ケア会議を開催し、協力・協働して解決策を協議し住みやすい町づくりを支援していきます。

### 【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
請求件数	月195件	月163件	月170件
認知症カフェ開催	年4回	年4回	年4回
介護保険や認知症の理解促進、普及活動	出前講座、認知症サポーター養成講座の開催、地域活動の協力	出前講座、認知症サポーター養成講座の開催、地域活動の協力	認知症サポーター養成講座（年2回） 出前講座、地域活動の協力（随時）

## 令和8年度川俣ホーム事業計画

### 1 全体

施設の所在している川俣町では、65歳以上の高齢者世帯の約25%が独居であるため、認知症の発症や支援者の不在などにより在宅生活の継続が難しくなるケースが増えています。また、総人口と高齢者人口は減少傾向にある一方、75歳以上の後期高齢者人口は令和12年まで増加すると予測され、医療的ケアを必要とする高齢者の増加や認知症、独居・老老介護など、地域の介護ニーズは多様化しています。町の第9期介護保険計画でも、介護予防の推進や生活支援体制の強化、医療・介護の連携深化が求められており、地域で暮らし続けるための支援体制づくりが重要な課題となっています。こうした状況を踏まえ、川俣ホームでは地域の医療機関や関係事業所と連携し、利用者と家族の状況に応じた切れ目のない支援を提供していきます。

また、サービス事業所としての原点を改めて見つめ直し、「関わる」をキーワードに、利用者・家族・地域、そして職員同士が互いに支え合える環境づくりを進めていきます。さらに、既存の記録システムの活用や情報共有の仕組みの見直し、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の視点に基づいた職場環境整備などの業務改善を進めることで、利用者へのサービスの質を維持・向上（生産性向上）にも取り組みます。

人と人とのふれあいを大切にしながら、日々のケアの質を高め、「利用して良かった」と感じていただける、地域に根ざしたサービス事業所を目指してまいります。

【目標数値】 ※措置入所者を除外した平均稼働率

目標計画		令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
平均稼働率	特別養護老人ホーム	98.4%	98.6%	98.6%
	ショートステイ	72.3%	64.6%	71.0%
	デイサービス I型	74.1%	75.3%	77.0%
	デイサービス II型	54.6%	43.8%	53.0%

### 2 特別養護老人ホーム

#### (1) 介護

利用者の尊厳を大切に、安心して過ごしていただくための支援を実践していきます。施設として接遇の方針や行動基準を整えるとともに、職員一人ひとりが言葉づかいや関わり方を丁寧にするすることで、接遇をケアの基本のひとつとして日々の支援に取り組みます。さらに、グループミーティングやリーダー会議を通じて実施していた接遇面の課題及び対策は継続しつつ、職員全体で行動基準を確実に実践できるよう努めていきます。

また、認知症のある利用者への支援を充実させるため、個別性を大切にしたケアをチームで実践します。生活歴や価値観を踏まえた関わりを進めるとともに、BPSDについては背景要因を丁寧に捉え、生活環境の整備や関わり方の工夫によって改善を図ります。さらに、認知症ケアに関する研修を、職員の経験や理解度に応じて内容を工夫しながら定期的に行い、学んだ知識を共有

し、チーム全体のケアの質向上につなげていきます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
行動基準の実施率	接遇課題アンケート実施	課題共有及び対策実施	行動基準作成及び実施率100%
認知症ケア課題整理シート活用ケア実践率（BPSDチェック高得点者対象）	—	課題整理シート作成（65名）	課題整理シートを活用したケア実践80%以上

※BPSDとは「認知症の行動・心理症状」の略称で、不安、怒り、興奮、徘徊など生活の中で現れる行動や感情の変化のこと。本人の困りごとや環境の変化等が原因となることが多く、適切な支援により改善が期待できる。

(2) 看護

日々の観察を通じて体調の変化を早期に捉え、多職種と連携して必要な対応を進めることで、利用者が安心して生活できるよう支援します。協力医療機関等との事前連絡を行い、受診までの時間短縮や専門診療科への紹介へつなげるなど状態変化に応じた適切な医療支援を確保します。看取り期には、利用者や家族の想いに寄り添い、苦痛の緩和や居室環境整備等、総合的なケアを提供します。

感染対策では、初動対応を明確にしたチェックリストを活用し、職員が迅速かつ確実に対応できる体制の維持と運用を進めます。また、標準予防策の徹底と体調変化の早期発見に努めるとともに、万が一感染症が発生した際には拡大防止を図ります。さらに、専門職として、職員への指導や相談対応を行い、施設全体の感染対応力の向上にも取り組みます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
感染症対応研修	4回/年	4回/年	6回/年
感染拡大の防止	大規模クラスター（12月～2月）	感染拡大件数0件	感染拡大件数0件

※感染拡大とは、1週間で10名以上の新規感染者が発生した場合

(3) 生活相談

利用者・家族の心理的負担を軽減できるよう、相談や問い合わせに迅速かつ誠実に対応し、安心して生活できる環境づくりに努めます。相談援助においては、事の大小にかかわらず個別のニーズに寄り添い、必要な情報提供や助言、具体的な調整を丁寧に行います。利用者の想いや生活背景を正しく理解するため、報告・連絡・相談を徹底し、職員間で認識をそろえ、相手の状況を踏まえた対応を心がけることで、より質の高い相談支援につなげていきます。

ケアプラン作成や個別カンファレンスにおいては、多職種でLIFE（ライフ）のフィードバック情報を活用するとともに、看取りケア実施後の振り返りでは、その人らしい最期であったか支援内容の妥当性や改善点を共有し、次の支援に確実に活かせるよう職種間の連携を深めます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
入所までの空床期間 (平均)	9.2日	4.2日 (11月末現在)	7～9日以内
L I F Eのフィードバック 活用	事業所フィード バック活用	事業所フィード バック活用	個別フィードバ ック活用

※L I F Eとは、国が運営するデータベースで、利用者の状態やケアの内容を記録し、その情報をもとに“より良いケアのためのフィードバック”が受けられる仕組み。フィードバックには、事業所全体の傾向を示す「事業所フィードバック」と、利用者ごとの状態を確認できる「個別フィードバック」の2種類がある。

(4) 機能訓練

機能訓練計画に基づき、多職種で連携しながら利用者一人ひとりに適した訓練を行います。日々の関わりを通じて小さな変化に気づき、身体機能の維持・向上だけでなく、日常生活への意欲や満足度の向上につながる支援を大切にしていきます。さらに、訓練中の様子や利用者の変化は職員間で共有するとともに、動画・写真や面会時の説明を通じてご家族にも分かりやすく伝え、理解と安心感を高めます。

法人全体で整備したリハビリプログラムについては、短期入所や通所介護の担当職員が日々の訓練に取り入れられるよう、機能訓練担当として助言や調整を行い、利用者の状態に応じた活用を行います。また、プログラムの実施状況や成果は定期的に振り返りを行い、必要に応じて改善点を共有し、訓練内容の質の向上につなげていきます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
介護職員に対する勉強会	0回	1回/年	6回/年
個別機能(歩行)訓練の様子 の家族への提供率(対象者)	15%	15%	70%以上
リハビリプログラム改善点 のフィードバック率	—	プログラム作成	90%以上

(5) 栄養管理

利用者が安心して食事を楽しめるよう、誤嚥防止に配慮した食材のカットや盛り付け方法を、多職種と意見を交わしながら検討していきます。また、食品の温度や時間管理を徹底するとともに、厨房職員の技術向上と衛生管理の強化に取り組み、安心して召し上がっていただける食事づくりを進めていきます。さらに、アセスメントをもとに多職種が協働し、多角的な視点から利用者の栄養状態の維持・改善に取り組みます。

あわせて、食事場面での関わりを通じて生活機能の維持につながる支援を行い、自立度の保持や役割づくりを目的として、配膳時間に利用者自身がご飯や汁物を盛り付ける機会を設けるなど、厨房職員も含めた支援体制を整えます。

【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
栄養・調理スキル向上研修	衛生研修：月1回	衛生研修：月1回	衛生研修：月1回 向上研修：年2回
食に関する行事・イベント の実施	2回/年	7回/年	7回以上/年
嗜好調査・喫食満足度	—	87%	87%以上

## (6) 総務管理

持続可能な施設運営を図るため、適正な予算管理と業務の見直しを進め、限られた財源を有効に活用しながら経費削減に取り組みます。水道光熱費の推移の確認や備品管理の徹底に加え、不要照明の消灯状況や空調の適正使用を確認する巡回点検を定期的に行い、日常的に無駄の削減に努めるとともに、季節によるエネルギー負荷(猛暑・厳寒期)にも配慮した運営体制を整えます。

また、施設設備の更新や修繕を計画的に行い、利用者・家族・職員が安心して利用できる環境の維持に努めます。

さらに、運転業務や屋外作業における安全管理を強化し、気象条件等に応じたリスク対策を講じることで、事故防止と職員の安全確保を図ります。あわせて、災害時にも可能な限りサービスを継続できるよう、事業継続計画(BCP)に基づいた災害別訓練や研修を実施し、非常時にも機能する組織体制を整えます。

### 【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
水道光熱費の節減	2,772万円	2,923万円 (前年度対比 +5%)	2,847万円 (前年度対比 -3%)
災害別BCP訓練(地震・火災・停電)及び見直し	地震訓練	地震・火災訓練	地震・火災・停電訓練

## 3 ショートステイ

在宅生活の継続を支えるため、運動レク、音楽・園芸活動、料理レク、生活リハビリなど多様な活動を、各専門職と協力しながら効果も踏まえて実施していきます。短期間の利用であっても、日々の関わりを通じて利用者の小さな変化に気づける体制を整えるとともに、活動の様子や参加状況を家族やケアマネジャーへ分かりやすく報告し、在宅介護に活かせる情報提供につなげます。

また、イベント開催日と空き状況をあわせて案内することで利用のきっかけをつくり、参加時の様子や変化を丁寧に共有することで安心して利用できる環境づくりを進めます。さらに、新規利用者には生活リズムの安定や家族の介護負担軽減につながる利用頻度の提案に加え、本人の興味や心身の状況に応じた各種活動への参加提案など、継続利用につながる具体的な働きかけを行い、安定した稼働率の確保にも取り組みます。

### 【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
利用実人数	30名/月	30名/月 (12月末現在)	35名/月
各種活動参加記録の家族への提供率	50%	50%	80%以上
料理レク・イベント回数	3回/年	5回/年	12回/年

#### 4 デイサービス

利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、心身の状況や生活の意向を丁寧に把握し、一人ひとりに応じた機能訓練や介護予防活動に取り組みます。日々の関わりを通じて小さな変化に気づき、その情報を家族やケアマネジャーと共有することで在宅生活をより安心して続けられるよう支援します。

満足度調査で求められた「余暇時間の充実」や「個別支援」を踏まえ、外出行事やアクティビティを見直し、入浴・食事・交流など利用者の楽しみをより豊かにするとともに、サービス内容や取り組みをわかりやすく発信し、地域サロンへの参加や見学受け入れを通じて利用促進にも取り組みます。

あわせて、口腔ケアについては、基本的な手順や確認ポイントを整理し職員間で共有することで、取り組みやすい体制を整え、ケアの質を段階的に向上させます。認知症介護や中重度者支援に必要な知識・技術の習得を進め、地域の多様な介護ニーズに応えられるデイサービスを目指します。

##### 【目標数値】

目標計画	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
利用実人数（Ⅰ・Ⅱ）	Ⅰ型37名／月 Ⅱ型22名／月	Ⅰ型33名／月 Ⅱ型19名／月 (12月現在)	Ⅰ型40名／月 Ⅱ型22名／月
外出行事の実施	1回／年	2回／年	2回以上／年
各地区のサロン参加・見学受け入れ	—	5回／年	12回／年
口腔ケア手順書の整備及び配布（自立者向け）	口腔体操の実施のみ	口腔体操の実施のみ	口腔体操の実施 手順書配布100%